

なんたん 社協だより

2016.7

第30号

あべの住民のこころが輝く福祉のまちづくり



本年4月より、障害者就労継続支援B型事業所「ワークセンターびび（日吉分所）」が「ひより舎」と改称して新たなスタートを切りました。（→関連記事 2ページ）

目次



南丹市社協マスコット
「ニャンたん」

ひより舎に込められた思い.....	2
あなたのまちの応援団.....	3
平成28年度 事業計画	4
平成27年度 事業報告	5
平成28年度予算・平成27年度決算	6
平成28年度 南丹市社会福祉協議会役員・委員等紹介	7～9
善意のご寄付／日赤社資報告	
認知症かなと思ったら・・・	10
シリーズ「地域の未来をデザインする。」～居場所づくり～ ...	11
ニャンたんが行く！あなたのまちの ふれあい いきいきサロン ...	12

ひより舎に込められた思い

今日一日が笑顔でよい“日より”になりますように…



さをり織りの様子



下請け作業の様子

《利用者さんの声》

施設の名前が変わると聞いてちょっと不安でしたが、18人の仲間たちや仕事は変わらなくてホッとしています。

あとはお給料が上がればもっといいと思います(^_^)

ひより舎は、障がいのある方が地域で生活しながら仕事や社会参加をするため通所する就労継続支援B型施設です。

軽作業（配布物の折込みや清掃、アルミ缶回収など）や下請け作業・さをり織り・農耕・自主製品の販売などをして、毎日頑張っています。



農耕作業の様子



軽作業の様子

ひより舎

〒629-0301

南丹市日吉町保野田

垣ノ内5-10

TEL：0771-72-0324

いつもあたたかく皆が笑顔で集える、そんな施設になるよう努力してまいります。今後とも変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



施設長 福原かをり

ニャンたんが聞きました


あなたのまちの 応援団

連載第1回


レクリエーション
コーディネーター
杉本 雅子さん

杉本雅子さんは、4月から6月にかけて3回シリーズ（ゲーム編・クラフト編・歌編）で、レクリエーション学習会を開催されました。杉本さんより、レクリエーションの魅力やポイントをおききました。

「笑顔とふれあいづくりのお手伝い」をしていきたい!!


 レクリエーション学習会を開催しようと
思われたきっかけは？

杉本 仕事に区切りをつけたら地域の皆さんと一緒にもっと活動していきたいと考えていました。まずは、地域で活動されている皆さんとレクリエーションを通してつながり、新しい出会いの場を作っていきたいと思いました。

 レクリエーション活動はいつからされているのですか？

杉本 学生時代からです。途中子育てで活動を休んでいた時期もありますが、かれこれ40年近くになります。

活動を始めた当時、レクリエーション活動は「ゲーム・ソング・ダンス」等を通しての遊びとされていることが多く、親にも「いつまで続けているの。」と言われていました。時代が変わり最近では、心のゆとりや楽しみの創造、体力アップ、認知症予防など、レクリエーション活動に期待されることが多くなってきました。


 長く続けていらっしゃるんですね。

杉本 はい、やめられませんねえ。面白い。楽しい。笑顔になる。


参加された方の笑顔や、「今日は楽しかった。」とお声をいただけることが、何よりのご褒美、今まで続けられてきた理由です。そのための準備は、ちっとも苦になりません。何かレクリエーションに使えることはないかなと考えたり、準備をしたりすることが楽しいのです。

いつでもどこでも参加された皆さんが、出会った時間を楽しく過ごせるように、いろいろな体験活動を通して、『笑顔とふれあいづくりのお手伝い』をしていきたいと思っています。



 今後の展望は？

杉本 いくつになっても楽しい時間を持つことは大切、まず自分が楽しまないと楽しさは相手に伝わらないと思います。人の前に立つということは場数や話術も必要です。お互いに教えられたり、教えたりする場を持つことで、仲間が増えたらいいなと思っています。

 ありがとうございました。南丹市内の地域の集まりやサロンで、ますます笑顔が広がることを楽しみにしています。

ニャンたんの なるほど!ポイント



レクリエーションをするときには…

今日の出会いに感謝の気持ちを伝える。
前日に爪を切っておく。(触れた時に優しさがつたわるようにまるくしておく)
寒い日は手を温めておく。

お知らせ

今年のサロン交流会の講師は杉本さんです。
ご期待ください♪(町ごとに開催予定です)

平成28年度 南丹市社会福祉協議会 事業計画

■事業実施基本方針

地域福祉活動計画「第2期なんたんふれあいプラン」施行から3年目にあたる今年度は、平成30年度の地域福祉計画・地域福祉活動計画の一体的策定を見据えて、住民主体の地域福祉活動を一層推進し、行政及び関係機関や地域団体との連携・協働をより強化しながら、プランに基づいて、住民主体の地域福祉推進組織づくりをさらに進めます。

社会的孤立や経済的事由に起因する生活困窮などの問題の早期発見や地域の様々な生活課題の解決につなげていけるよう、小地域見守り活動をはじめとする地域ぐるみの福祉力向上の取り組みを促進するとともに、生活困窮世帯の自立支援強化のため、家計相談支援の取り組みをさらに進めます。

また、平成29年度までに社会福祉法人改革・介護保険制度改革が実施されようとしています。特に、介護保険制度改革により実施が予定されている介護予防・日常生活支援総合事業（以下「新しい総合事業」）は、これまで社協が取り組んできた地域福祉推進の真価が大きく問われること、および今後ますます社協の果たすべき社会的役割が重要となってきます。特に介護事業部門については、利用者本位で質の高いサービスを提供することはもとより、今こそ、地域に根ざした「社協らしい」サービスを提供するという、社協が介護事業を経営する意味に真摯に向き合い、これまで以上に地域に根ざした事業経営を進めるものとしします。

障がい者自立支援分野においては、誰もが地域社会の一員として、尊厳ある生活を継続できるようにするため、それぞれの障がい特性を尊重し、障がいの有無を超えて、誰もが住み慣れた地域で安心して社会生活が営めるよう、地域の理解・協力を得ることに積極的に取り組みます。また、本人およびその家族等へのきめ細やかな相談援助を一層充実させ、施設・事業所や関係機関と緊密に連携しながら総合的な自立支援の充実を図ります。

法人運営については、社会福祉法改正に適正に対応することはもとより、運営・経営基盤をより強固なものとするため、発展強化計画に基づく必要な内部改革にも積極的に取り組み、中・長期的にも安定した事業経営を目指します。

■重点実施項目

1. 第3期計画を見据えた「なんたんふれあいプラン」の推進
2. 総合相談支援機能およびコミュニティソーシャルワークの強化
3. 新しい総合事業を見据えた福祉サービス事業経営
4. 発展強化計画に基づく改革
5. 将来を見据えた福祉人材育成と部門を越えた連携強化



平成27年度 南丹市社会福祉協議会 事業報告

平成27年度は、園部・八木・日吉・美山の各4町社協が合併し南丹市社協が設立されてから10年目という節目の年であった。市民の皆さまに、当会の今後益々の発展をお約束するため、設立10周年記念事業に取り組んだ。

記念事業の一環として、多数の関係各位ご臨席のもと、南丹市社会福祉大会を開催し、式典および記念講演とも盛会であった。また、10年のあゆみをふりかえりながら、感謝と希望を未来へとつなげるよう、記念誌『ありがとう～10年の感謝をこめて～』を編さんし、市民の皆さまのもとにお届けすることができた。

さらに、今後、よりいっそう南丹市社協を知っていただき、ご愛顧いただけるよう、マスコットキャラクター「ニャンたん」を誕生させ、社会福祉大会においてお披露目することができた。

設立10周年という記念すべき年であったと同時に、事業経営の環境は、より厳しさを増した年でもあった。介護報酬のマイナス改定や恒常的な福祉人材不足などがその主な要因であるといえるが、その影響は決して小さなものではなく、特に、利用者の減少とも相まった訪問介護事業については大幅な減収となった。

しかしながら、単に収支結果に対して一喜一憂するのではなく、中・長期的視野に立った経営基盤の強化を図るため、「第1次発展・強化計画」を継承してさらに取り組みを進めた。今年度は、特に、組織・機構と人事制度の一体的・抜本的改革について議論を深め、具体的な制度構築に向けた取り組みを進めることができた。

組織・機構については、日吉・美山の介護事業所の統合を進め、市内北部圏域に対して一体的にサービスを提供できる体制へと改革することができた。

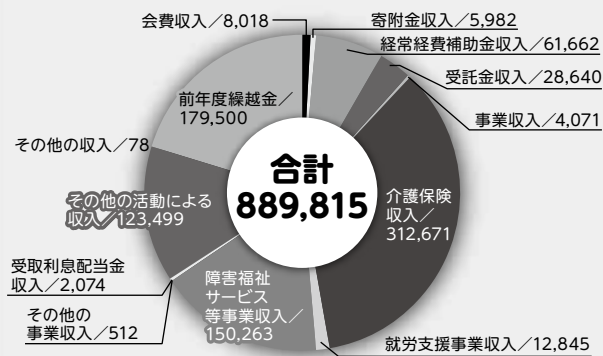
人事制度については、一昨年度に認証取得した「きょうと福祉人材育成認証制度」の助成を受け、給与制度改革の具体化を進めることができた。次年度の人事評価制度構築を経て、平成29年度から総合的な人事管理の新制度施行を目指したい。

次年度には、社会福祉法改正に伴う社会福祉法人制度改革が実施される見込みであり、これまで以上のガバナンスおよび財務規律の強化、経営に関する透明性の確保と説明責任の増大が予想される。また、介護保険制度改革に伴う介護予防・日常生活支援総合事業（以下、「新しい総合事業」）への移行期限も迫ってきており、変革への素早い対応が求められる。特に「新しい総合事業」の考え方は、社協が進めてきた地域福祉活動そのものといっても過言ではなく、今後、社協の果たすべき役割はますます重要になると考えられる。「なんたんふれあいプラン」に基づいて、住民主体の地域福祉を進めることの重要性を再認識した1年であったともいえる。

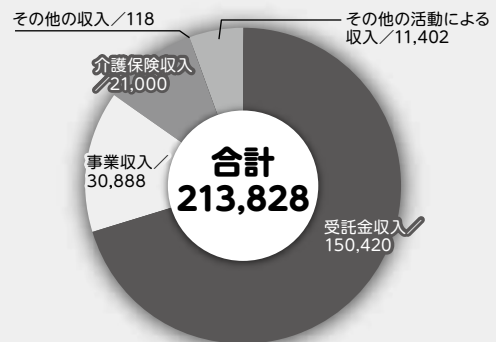
以上、総括とし、当会のさらなる発展を目指す新たな10年のスタートとなる次年度につなげるものとする。

平成28年度 予算

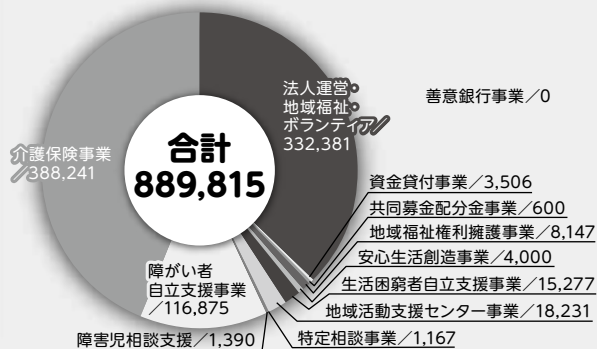
社会福祉事業会計 収入(千円)



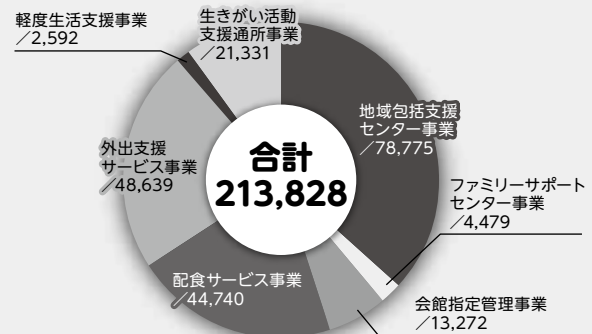
公益事業会計 収入(千円)



社会福祉事業会計 支出(千円)

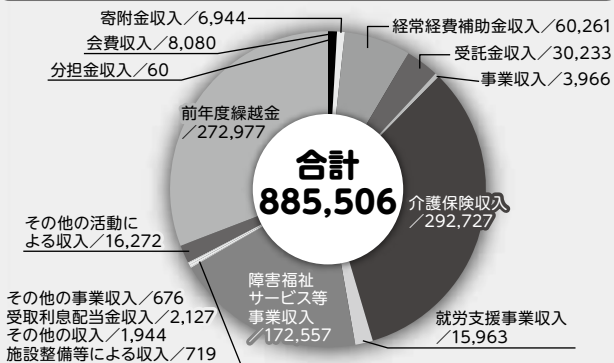


公益事業会計 支出(千円)

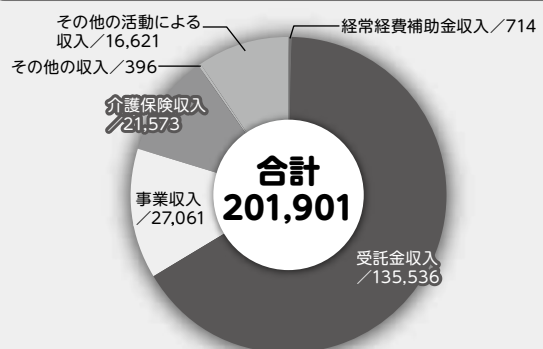


平成27年度 決算

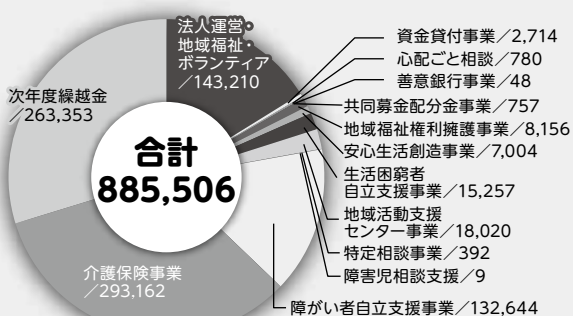
社会福祉事業会計 収入(千円)



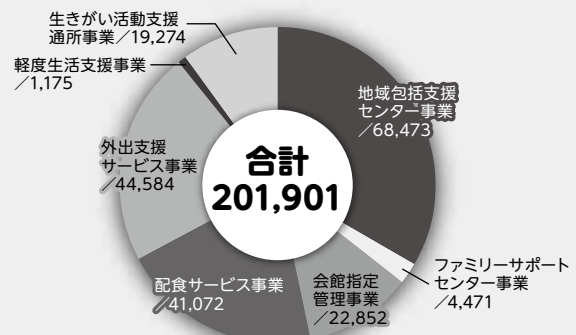
公益事業会計 収入(千円)



社会福祉事業会計 支出(千円)



公益事業会計 支出(千円)



平成28年度 南丹市社会福祉協議会 役員・委員等紹介

平成28年6月現在

〈敬称略・順不同〉

〈役員(会長・副会長・理事・監事)〉

	氏 名	選任区分
会 長	田中 博	学識経験者
副会長	奥村 安治	地域の代表
副会長	吉田 進	地域の代表
理 事	谷 幸	学識経験者
理 事	芦田 俊孝	学識経験者
理 事	寺尾 哲雄	学識経験者
理 事	木村 明美	民生児童委員協議会 (園部町)
理 事	下司 文一	民生児童委員協議会 (八木町)
理 事	船越 重雄	民生児童委員協議会 (日吉町)
理 事	南 清	民生児童委員協議会 (美山町)
理 事	關 良子	ボランティアの代表
理 事	奥村 泰之	社会福祉施設の役職員
理 事	前田 義明	議会
理 事	弓削 雅裕	行政
理 事	山内 明	法人が経営する施設の施設長等
監 事	吉田 史樹	財務諸表を監査し得る者
監 事	佐野 清	社会福祉事業に学識経験を有する者

〈評議員〉

	氏 名	選任区分
評議員	高屋一人司	地域の代表
評議員	立花 敏則	地域の代表
評議員	西村 隆雄	地域の代表
評議員	高野 紘	地域の代表
評議員	松崎 由香	学識経験者
評議員	樋口 敏宏	学識経験者
評議員	上原 文和	学識経験者
評議員	原田 朱美	学識経験者
評議員	大坪 洋子	民生児童委員協議会
評議員	大槻 昌伸	民生児童委員協議会
評議員	宮田 洋二	民生児童委員協議会
評議員	中村 澤三	民生児童委員協議会
評議員	松本 郁夫	社会福祉団体
評議員	船越 昭	社会福祉団体
評議員	坪之内好野	社会福祉団体
評議員	吉田満千代	社会福祉団体

	氏 名	選任区分
評議員	矢野 茂世	社会福祉団体
評議員	廣瀬 和子	社会福祉団体
評議員	加地 哲	社会福祉団体
評議員	坂井 隆雄	社会福祉団体
評議員	中西 博美	ボランティアの代表
評議員	中川佐由美	ボランティアの代表
評議員	井尻 和夫	ボランティアの代表
評議員	中西 知	ボランティアの代表
評議員	岡本 安夫	老人クラブ
評議員	滝口 来吉	老人クラブ
評議員	吉田 和代	老人クラブ
評議員	名古 友弘	老人クラブ
評議員	西村 良平	社会福祉施設の役職員
評議員	松本純一郎	教育関係者
評議員	榎本 尚	行政

〈委 員〉

■企画(小)委員会 ◎は委員長、○は副委員長

高齢者福祉、障がい者福祉、児童・青少年福祉、子育て支援、他社会福祉を目的とした企画や地域福祉活動計画について協議しています。

園部町			八木町			日吉町			美山町		
◎大町 功	地域の代表		◎川勝多嘉志	知識・経験を有する者		◎出野 比啓	知識・経験を有する者		◎倉内喜久雄	知識・経験を有する者	
○中嶋 美好	知識・経験を有する者		○山内 正	知識・経験を有する者		○湯浅 千鶴	知識・経験を有する者		○岡本 達樹	地域の代表	
高屋 剛	知識・経験を有する者		大内 康子	地域の代表		西村 隆雄	地域の代表		下田由香里	知識・経験を有する者	
中西 博美	ボランティアの代表		中川佐由美	ボランティアの代表		井尻 富子	ボランティアの代表		桂 隆雄	ボランティアの代表	
西山 美江	民生児童委員協議会		一瀬 信之	民生児童委員協議会		宮田 洋二	民生児童委員協議会		中村 澤三	民生児童委員協議会	
松本 健	ふれあい委員		松本 千里	ふれあい委員		渡辺ちえの	ふれあい委員		大萱 安雄	ふれあい委員	
吉田満千代	当事者組織		廣瀬 和子	当事者組織		船越 昭	当事者組織		田中 貞夫	当事者組織	
船越 雅英	行政		井上 明美	行政		矢田 明美	行政		福井 修	行政	

※各支所小委員会の委員長・副委員長により、企画委員会を構成する。

■広報委員会

本会が発行する広報誌や事業の啓発活動について協議しています。

日下部純子	知識・経験を有する者
八木 節子	知識・経験を有する者
中川佐由美	ボランティアの代表
塩貝 福美	ボランティアの代表
梅木 寧輔	民生児童委員協議会
南 清	ふれあい委員
小槻 忠行	人権擁護委員

■ボランティアバンク運営委員会

ボランティア活動の振興、基金の運用および運用益、活動の広報・啓発について協議しています。

西田 節子	知識・経験を有する者	木村 幸子	ふれあい委員
大内 清美	知識・経験を有する者	大萱 安雄	ふれあい委員
菅井 均	ボランティアの代表	吉田満千代	当事者組織
平松シゲ子	民生児童委員協議会	加地 哲	当事者組織
加地 一郎	民生児童委員協議会	原田久仁子	当事者組織
谷 義治	ふれあい委員	橋本 千代	行政
松本すみ子	ふれあい委員	浅田 妙子	教育委員会

■生活福祉資金調査委員会

京都府社会福祉協議会が行っている生活福祉資金に関する各種手続きのほか、南丹市からの受託事業であるくらしの資金に関する決定の可否などの手続きについて協議しています。

田中 博	本会の理事
今井 恵一	民生児童委員協議会
廣瀬 洋子	民生児童委員協議会
丸山 敏夫	民生児童委員協議会
上澤 秀春	民生児童委員協議会
船越 雅英	行政

■苦情解決第三者委員会

本会への苦情に関する日常的な状況を把握しています。

■個人情報保護委員会

本会が定める「個人情報保護規定」に基づいた、個人情報にかかる苦情解決に関わっています。

中井 良子	民生児童委員協議会
國府 秀雄	民生児童委員協議会
坪之内好野	民生児童委員協議会
木戸 広史	民生児童委員協議会
内藤 武	人権擁護委員
山口 伸子	人権擁護委員
湯浅 義文	人権擁護委員
武中富久栄	人権擁護委員

■善意銀行運営委員会

善意銀行の積立および取崩に関するこの他、運用および運用益について協議しています。

森 為次	知識・経験を有する者
関 とし	知識・経験を有する者
近藤 次男	知識・経験を有する者
倉内喜久雄	知識・経験を有する者
中尾 敬子	民生児童委員協議会
片山 幹雄	民生児童委員協議会
岡本 悦子	民生児童委員協議会
清水知江美	民生児童委員協議会
船越 雅英	行政

■ふれあい委員

園 部	担当区
井尻 雅代	宮町
中山 桂子	上本町
山村 宏子	本町
林 和子	若松町
吉見 節子	若松町
木上 幸子	新町
眞野 佳子	新町
水山 道子	新町
中井千恵子	小山東町
正木 桂子	小山東町
木下 君子	府宮向河原団地
横山 和美	府宮向河原団地
徳岡志づの	市宮向河原団地
森野由美子	市宮向河原団地
野々口志朗	小山西町
植村 勝	栄町
上野 君代	栄町
山内 洋一	美園町
小林摩耶子	美園町
梅木 寧輔	美園町
服部 廣子	小桜町
廣瀬 香代	小桜町
奥井 清	小桜町
中野 好三	城南町
森 久代	横田
田中日出男	横田
松本 健	横田
石川 慶子	横田
木村 清司	黒田
藤田恵美子	上木崎町
松本 邦子	上木崎町
本村 修	河原町
矢野 篤子	木崎町
中川 郁江	木崎町
寺尾美智子	木崎町
竹中 絹子	内林町

吉見喜代子	内林町
藤木 建二	瓜生野
杉本 久司	熊崎
内藤 憲子	新堂
中西千恵美	千妻
松井 弘一	曾我谷
山岸 恵子	船岡
大久保美保	船岡
西山 貞子	高屋
片山 享子	大戸
松本久真子	熊原
上田 文代	佐切
谷口まゆみ	越方
吉田 幸代	竹井
山村 裕美	竹井
谷 義治	仁江
潮田富美子	船阪
大坪 良子	大西
小林 厚子	穴人
井尻 恵子	半田
神田 悦子	口人
西田みつ子	口司
中井 明子	殿谷
野々口寿美子	埴生
野々口文子	埴生
奥村千恵子	南八田
清水 郁代	天引
大町 功	法京
奥村はるみ	大河内
橋本 玲子	南大谷
奥村 恭子	若森

八 木	担当区
廣瀬佳津美	本町1丁目
田伏 明美	本町1丁目
吉田 泰人	本町1丁目

秋田 浩二	本町1丁目
浮田 正行	本町2丁目
秋田 裕子	本町3丁目
廣瀬日出也	本町3丁目
弘田 文子	本町4丁目
山田 和子	本町4丁目
八木 道代	本町5丁目
波部栄理子	本町5丁目
中田 順子	本町6丁目
前川嘉保里	本町6丁目
八木美千代	栄町1丁目
麻田 由美	栄町1丁目
白波達命	栄町3丁目
平田 正吉	本郷東
八木 由浩	本郷東
清水 茂樹	本郷西
芝原 初代	本郷南
尾迫恵以子	本郷北
河原 幸代	栄町2丁目
大狩 嘉子	栄町2丁目
八木 律子	栄町2丁目
國府 佳子	栄町2丁目
大狩明希子	垣内
八木 尚子	柴山
國府たま子	屋賀上
木村紀代美	北屋賀
平井 正代	北屋賀
村上 公美	北屋賀
荘司美代子	北屋賀
平井みね子	北屋賀
川勝 幸	青戸
川勝 範子	青戸
大狩 充子	西田
原 厚子	西田
鳥木 清美	西田
山下 正高	井ノ尻
塩貝 広美	井ノ尻

斉藤 和代	観音寺
川勝 文雄	屋賀
川勝たつ子	屋賀
人見 祥永	氷所
中川めぐみ	氷所
浅田 吉一	日置
浅田 清次	日置
星野トモ子	刑部
斉藤 澄代	刑部
広瀬加代子	北広瀬
宅間富美子	北広瀬
廣瀬喜美子	八木嶋
大鳥羽潤子	八木嶋
廣瀬美佐江	八木嶋
中村 己里	八木嶋
廣瀬 滋子	大藪
廣瀬 和代	大藪
上仲 禮子	折戸
円光ひろみ	折戸
中村 道代	南広瀬
廣瀬千恵子	南広瀬
雨宮かおり	南広瀬
廣瀬しのぶ	鳥羽
今西 統子	鳥羽
湯浅 典子	美里
井上 正枝	美里
今西 恵子	室河原
市原 郁子	室河原
永井香代子	木原
今西 順子	木原
西田 忠弥	池ノ内
西田 明子	池ノ内
松本すみ子	玉ノ井
田村 安子	玉ノ井
関岡 容子	船枝
西村 齊	船枝
市原 達也	山室

松本 千里	山室
西川夕起子	室橋
羽野 更平	室橋
明田 木作	諸畑
松本 一弥	諸畑
松本 節子	野条
明田ゆり子	野条
麻田 義幸	池上
麻田 法秀	池上
大槻恵美子	神吉上
小森裕美子	神吉上
中嶋よし江	神吉下
滝野かつ子	神吉和田

日 吉	担当区
井尻 三世	殿田上
伊藤つや子	殿田下
湯浅千恵子	木住
湯浅 美紀	木住
船越 悦子	生畑
八谷 国栄	中世木
田中 文代	中世木
塩貝 圭子	上保野田
井尻 逸子	下保野田
吉田美津子	志和賀
井尻 孝子	志和賀
笹井 裕美	上佐々江
藤原 節	中佐々江
土井ユリ子	下佐々江
中島五十子	四ツ谷 (東谷)

加地 哲	四ツ谷 (海老谷)
黒 康子	四ツ谷 (中組)
平山 加代	四ツ谷 (吉野辺)
栃下八寿江	興風
谷林 久美	彰徳
木村 幸子	和田・新シ
山田 浩子	片野
川端 京子	東雲
杉尾富美子	東胡麻
塩貝 文明	西胡麻
(角本・中村・中野辺・イングランドヒルズ)	
工藤 令子	西胡麻
(角本・中村・中野辺・イングランドヒルズ)	
嵯峨 泰子	西胡麻
(駅前・栄ヶ丘・胡麻荘園)	
前田 智美	西胡麻
(新町・後野・日吉平)	
渡辺ちえの	上胡麻 (木戸)
塩貝真佐代	上胡麻 (塩貝)
平賀 友子	上胡麻 (大戸)
津田奈々恵	広野
筒井 夏生	広野
宇野美奈子	畑郷
永口 勇夫	畑郷

美 山	担当区
渡邊 裕之	南
中野 光栄	北
大萱 安雄	中
大隅トシ子	中

名古 友弘	河内谷
松永 茂吉	下
笠谷 実	知見
大野 幹子	江和
石川真知子	江和
藤原 有	田歌
中野はるみ	芦生
川村智亜紀	白石・佐々里
加藤 広市	又林
木戸 信子	下平屋
岩井 美幸	上平屋
井本 章栄	安掛
東 あつ子	野添
北田 知子	長尾
西浦 貞子	深見
中西 明広	荒倉
柏下 修	大内
西 しげ子	内久保
林 久生	原
古谷 利雄	板橋
中島 史隆	宮脇
南 清	下吉田
山内 博文	島
坂田 明男	長谷
橋本 時栄	上司
木村こふみ	和泉
大上 保	和泉
山添 泰子	静原
大秦 洋子	今宮
細川 幸男	栃原
竹嶋貴代美	砂木

南條 明美	棚
小林 光子	川合
大矢 強馬	殿
上田 純二	舟津
有田 貞雄	松尾
前田 時男	神谷
宮崎 英寿	名島
木村 光一	洞
大町 義明	田土
安川 雅子	上吉田
小寺 松芳	林
松原 寿子	庄田
田中 義	脇
田中 幹生	熊壁
左近 幸広	山森
藤原 久子	菅野
小寺 幸子	大野
徳田富喜子	大野
高畑婦美子	川谷
竹内 晶	岩江戸
采尾 浩史	脇谷
梅津 義明	小淵
梅津多鶴子	向山
春摘 章治	榎原
坂本 佐和	音海

善意のご寄付ありがとうございました

《平成28年3月1日～平成28年5月31日受付分》

東胡麻老人クラブ 様	3,000円	福祉のために
ふるさと演歌 葛の会 代表 湊 昌平	20,000円	福祉のために
桃太郎楽団 代表 松本 健	37,816円	福祉のために
カラオケルーム ちあき	23,369円	「カラオケルーム ちあき お客様に 感謝の会」の募金 を福祉のために
園部町グラウンド ゴルフ協会	15,800円	福祉のために
南丹地区 カラオケ連合会	15,000円	第9回 南丹地区 カ ラオケ歌謡フェス ティバルの募金を 福祉のために

船枝愛友会 様	5,200円	心持ち運動で集め た募金を福祉のた めに
もったいない屋 様	50,000円	福祉のために
湯浅 和彦 様	100,000円	亡父の供養に
水口 静子 様	100,000円	亡父の供養に
美山会代表 柿迫 義昭	77,076円	地域福祉のために
上田 節子 様	50,000円	亡母の供養に
匿名寄付 20件	匿名寄付計	240,368円
山口はるの 様	ポータブルトイレ	
匿名預託 1件		



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

日本赤十字社員増強運動(5月)に
ご協力ありがとうございました。(平成28年5月末現在)

3,228,050円

皆さまの善意に厚くお礼申し上げます。
なおご協力いただいた社資は、全額日本赤十字社へ送らせていただきます。



認知症かなと思ったら…

南丹市 認知症ガイドブック

(南丹市認知症ケアパス)のご紹介

「認知症ケアパス」とは認知症の方に対する「支援の流れ」で、南丹市の特徴に合わせて作成しました。このガイドブックは認知症の方とその家族が地域の中で生活しやすいよう、認知症の段階に合わせて、

ご本人の様子 ご家族の思い 対応のポイント
利用できる社会資源・サービス

を載せています。

ケアパス作成委員をはじめ、地域の皆様より貴重な意見をいただき南丹市らしいものが出来上がりました。ご家族が認知症？と不安をもたれた時などにご活用ください。



ここに置いてあります!

- ・社会福祉協議会 (南丹地域包括支援センター)
- ・市役所
- ・介護サービス施設
- ・医療機関
- ・薬局



認知症ケアパス作成委員より

皆さんへのメッセージ



認知症は、徐々に進行していく病気です。本人や家族はとても不安です。認知症にかかる前や、かかってからもこの認知症ケアパスを見ることで少しでも安心してもらえればうれしいです。地域での見守りにも役立つことを願います。

2025年には65歳以上の5人に1人は認知症に罹患すると言われ、身近な病気になりつつあるにも関わらず、わからないことが多くあります。この認知症ケアパスを活用することで、迅速かつ適切な対応が出来ることを願い、作成に携わりました。

お問い合わせ 南丹地域包括支援センター

園部事務所 68-3150(南丹市役所 4号庁舎内)
 八木事務所 43-0551(社協 八木支所内)

日吉事務所 72-0214(社協 本所内)
 美山事務所 75-1006(社協 美山支所内)

年齢も性別も関係ない! みんなの居場所「わっかっか!」

『わっかっか!』は、私の思いと、地域のみなさんの理解と協力があって生まれました。小学生が学校から帰ってきて「ただいま!」と入ってくることもあれば、近所の高齢者の方がパソコンを習いに来られたり、手芸やお喋りを楽しんだり、思い思いに過ごされています。」そう話す水谷千里さん。

きっかけは『里の公共員*』

水谷さんは、人と関わることが好きで、ユースホステルで働いたり、高齢者施設の送迎や配食サービスの配達員などを経験してこられました。その経験を通して、もっと人との関わりを持ちたいという思いが強くなり、対象を限定しない何かがあってもいいんじゃないかと考えるように。そんな時、南丹市世木地区の「里の公共員」になり、地域とのつながりを深めるきっかけができました。

*里の公共員:少子高齢化、過疎化の進行、地域コミュニティの衰退等により地域課題が増える中、地域に居住し、仕事を持ちながら、地域住民や関係する多様な団体と協働して、地域の特定課題の解決に長期的に取り組む公共的な役割を担っていただく方を、京都府が任命し配置しています。

子どもたちから『おばちゃん』

「親ではない大人の役割があると思うし、人と人との関わりの中で子どもが育っていけるような地域にしていきたいと思っています。



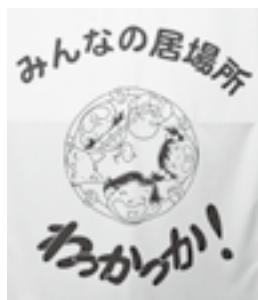
みづたに ちさと 水谷 千里さん

地域に住む子どもたちが『おばちゃん』と声をかけてくれる、私はそれが嬉しいんです。」と水谷さんは言います。「里の公共員」として、地域全体のつながりについても考えていかなければなりませんが、まずはここをきっかけに、いずれは地域のあちこちにこうした場所ができれば、との思いも。そして地域に住むみんなが元気になれる、そんなつながりが広がっていったらと水谷さんは願っています。

『さみしいからつながる』～水谷さんの思い～

人はひとりでは生きていけません。「さみしいからつながる」それでいいと思うんです。ここに来れば、大切な人とのつながり、ぬくもりが感じられる、そういう場所にしていけることが、今の私の夢であり目標です。やりたいことがたくさんあってワクワクしています。ひとつひとつ、進んでいけたらと思っています。

フリースペース（コミュニティカフェ）みんなの居場所 わっかっか!

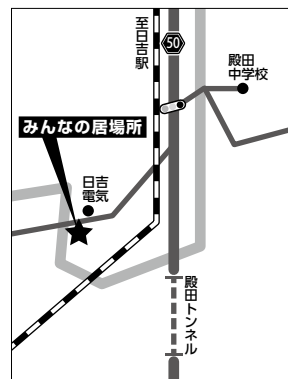


日時：毎週木曜日 13時30分～17時

場所：日吉町殿田東小牧（日吉電気さん向かい）

内容：自由（地域活動相談、アイデア提案、パソコンの使い方・修理相談、おしゃべりやティータイムなど、自由に過ごせる場所です。）

※この他にも「歌声喫茶」や「食関連のイベント」を開催しています。





第1回

あなたのまちの ふれあい いきいきサロン

かわべ親子サロン(園部町)

開催日：原則 第2水曜日 14:00~16:00

場 所：おいで〜な かわべ (旧川辺小学校)

雨上がり、青空が少し見えてきたお昼すぎ、ニャンたんは、かわべ親子サロンに遊びに行きました。



4年目を迎えたかわべ親子サロン。小学校にあがる前の子どもの遊び場がないという声からうまれました。小学校の教室を使用し、子どもたちが自由に遊んでいます。

川辺小学校の閉校により、放課後の居場所を求める子どもたちが増えました。それを機会に、小学生もサロンに遊びに来るようになりました。放課後の居場所づくりにもつながっています。



外に出ても、子どもがいません。一人で遊ぶこともあります。ここに来たら同世代の子どもたち、お母さんがつながれます。(参加者の声)

うちのサロン自慢

お部屋にあるものは、ほとんどが提供品で、多くの理解者がいることです。

発行

社会福祉法人 南丹市社会福祉協議会

本 所 〒629-0301 南丹市日吉町保野田垣ノ内11番地 ☎ 0771-72-3220 ☎ 0771-72-3222
(代表) メールアドレス na_shakyo@cans.zaq.ne.jp

園部支所 〒622-0014 南丹市園部町上本町南2番地22 ☎ 0771-62-4125 ☎ 0771-63-5606
八木支所 〒629-0134 南丹市八木町西田山崎17番地 ☎ 0771-42-5480 ☎ 0771-42-4412
日吉支所 〒629-0301 南丹市日吉町保野田垣ノ内6番地4 ☎ 0771-72-0947 ☎ 0771-72-0732
美山支所 〒601-0722 南丹市美山町安掛下8番地 ☎ 0771-75-0020 ☎ 0771-75-0829

ホームページ 南丹市社協

検索